



測量・調査・設計・情報の仕事に従事している人たちの賃金水準は、全体として「世間並み水準（日経連千ドル）」と比較して20年から25年の遅れ（約30歳代後半以降は著しい格差があるのが実態です。これでは、現在の生活もきびしい上に、将来も苦しいこととなります。いまこそ、あなたの生活と仕事について、ひろい視野から見つめ直すことが必要ではないでしょうか。

最先端の業種が
賃金水準は
2~5年遅れ

全国建設・関連部会
〒160-0073 東京都新宿区百人町4-7-2
TEL 03-3360-8021 FAX 03-3360-8389
e-mail: ctg@tb3.so-net.ne.jp

CTG 全日本建設交運一般労働組合

業界全体の賃金底上げと労働条件の改善を進めていくためには、みなさんの力が必要で、いまこそ安心して働ける職場をつくらために労働組合への加入をせひともお考えください。労働組合に加入すれば、職場でお困りになっていることが何でも相談できます。一人でも加入できる建交労はそんな不安を解消できる労働組合です。

連絡先

あなたもぜひ 建交労へ

わたしたちの
生活と賃金・
労働条件を
改善しませんか

測量・調査・設計・
情報処理技術者のみなさんへ

- あなたは、いま充実した生活をしていますか？
- 生活を支える賃金は充分ですか？
- 職場の労働条件はどうですか？
- 仕事の内容はどうですか？
- 長い人生に展望を持てる職場ですか？

CTG 全日本建設交運一般労働組合

ひとりでも悩まず みんなの力で 明るい業界へ



測量・調査・設計・情報 の世界では…

世間ではあまり知られていませんが、測量・調査・設計とそれに関連した情報処理の仕事は、地方自治体が必要とする各種地図作成にみられるように、国民生活を支える土台となる重要なものです。その内容もコンピュータを用いたデジタル測量の時代に移行し、近年の技術革新はすさまじいものがあります。こうした中であって、技術者が習得しなければならぬ技術の幅は、測量の基礎からコンピュータ解析までかつてないほど広くなっており、その負担は経営側の不十分な体制により、技術者本人に重くのしかかっているのが現実です。

経営者側の責任を明確に

また、公共事業の抑制で官公庁からの発注が減少し価格競争の激化で受注単価も下落しています。みなさんは長時間労働をはじめとした個人の努力により日々の仕事を進められていると思いますが、測量業界はこれまでの談合体質による経営者側の責任を明確にしないまま、リストラ(合理化)の名のもとに各社で人員削減をおこなっています。わたしたちの業種は、基礎となる各種データを集積・分析して培われた技術によって発展してきましたが、その担い手である技術者を減らすことでコスト削減をおこなえば、技術水準の低下により成果品の品質も保てなくなると考えられます。



21世紀こそ 安心して働ける職場へ

労働組合の長い間のたたかひの前進で、週休2日制も実施されてきましたが、時間外労働や休日出勤の多い問題は、まだ大きな課題として残っています。労働密度もいちじるしく高まっており、作業の部分工程専門技術者として消耗品的に使われる問題も表面化してきています。こうした現状では、「いつまで過重な労働が続くのか」「自信が持てる品質の成果が出せないのではないか」「会社の先行きに展望が見出せない」などと感じているのではないかと思います。これらの問題を打開するためには、残念ながらひとりひとりの力ではどうしても限界があり、多くのはたらく仲間が企業の枠を超えて団結する必要があるとします。

労働組合の連帯で 着実に前進

私たち労働組合は、長年の交渉とたたかひを通して、賃金・労働条件の前進を勝ち取ってきました。これらは、業界内の労働組合(全国測量労働組合協議会)との連帯や、国土交通省の労働組合をはじめとする発注官庁労働組合との共闘が大きな原動力となっています。しかし、現在の到達点はいまだ充分なものではありませんし、新たな課題が生じているのも事実です。私たちの基本的な考え方は「測量・調査・設計・情報にはたらく者の雇用と生活を守り、労働条件・環境の改善により、公共事業を通じたより良い生活環境の実現を」です。

